

子どものメンタルヘルスに与える長期的影響に関する研究

研究分担者 奥山真紀子 国立成育医療研究センター こころの診療部長

研究要旨

【目的】未就学期にトラウマ体験を受けた場合、言語発達が未熟なために表出できず、後年になってからその影響が症状として表れることやその影響が長期間持続することが予想される。このような長期的な影響を明らかにするためには、被災した子どもの長期的な前向き調査が必要である。

そこで、東日本大震災という激甚災害を未就学期に体験した子ども達のメンタルヘルスの状況および経過を前向き調査によって追跡し、問題行動の軌跡パターンとその要因を明らかにするために被害の大きかった被災 3 県の沿岸部および対照県として西日本の三重県で調査を行った。

【方法】対象は、協力の得られた保育所または幼稚園において 2011 年 3 月 11 日時点で 3・4・5 歳児クラスに在籍していた子どもとその親（保護者）とした。東日本大震災での被災体験について、子どもと親を対象とした、被災状況を評価する面接調査を実施し、さらに行動や精神状態等に関する評価尺度を用いた質問紙調査を実施し、被災との関連を検討した。震災から 2 年目、3 年目、4 年目、5 年目、6 年目の CBCL 総合的問題行動の有無に着目し、通年で問題行動を有する持続群、3 年目、4 年目、5 年目、6 年目で問題行動が生じはじめた遅発群を、通年で問題行動のない非臨床域群と比較した。

【結果】平成 24 年度、25 年度、26 年度、27 年度、28 年度のすべての調査に参加した 140 名（被災県 93 名、対照県 47 名）を対象とした。震災後 3 年以上後に発症した問題行動を示す遅発群の割合は 5.38%、震災後 5～6 年における持続群は 4.30%であった。

どのような要因で通年非臨床群とこれら遅発群、持続群になるのかを検討したところ、親の養育態度、親のメンタルヘルス、ソーシャルキャピタルといった養育環境要因が問題行動の遅発や持続に関連していることがわかった。

【結論】未就学期に東日本大震災を経験した子どものうち、経年変化で 5 年間観察したところ、持続する問題行動を有する子どもおよび遅発する子どもが一定の割合でいることがわかった。その要因と考えられたのは介入可能な養育環境であった。この調査結果を今後の震災対策に生かすことが望まれる。

研究協力者

長尾 圭造（長尾こころのクリニック）

八木 淳子（岩手医大 いわてこどもケアセンター）

増子 博文（福島県発達障がい者支援センター）

藤原 武男（東京医科歯科大学国際健康推進医学分野）

木津喜 雅（東京医科歯科大学国際健康推進医学分野）

他、44名【資料1参照】

自然災害に曝露した子どもはメンタルヘルスを悪化させるが、災害の曝露から数年経ってからメンタルヘルスの悪化が顕在化することも珍しくない。また、どのような要因がある場合に数年間に渡ってメンタルヘルスの問題が回復しないということもある。どのような子どもがどのような、持続的な経過をたどるのか、を明らかにすることで、今後東日本大震災のような激甚災害が起きた場合の対策に役立つ

A. 研究目的

つ可能性が高い。

特に、未就学期にトラウマ体験を受けた場合、言語発達が未熟なために表出できず、後年になってからその影響が症状として表れることや数年にわたって問題が持続することが予想される。このような長期的な影響を明らかにするためには、被災した子どものメンタルヘルスを同じ尺度で継続的に評価し、その軌跡を観察することが必要である。

そこで、東日本大震災という激甚災害を未就学期に体験した子ども達のメンタルヘルスの状況および経過を前向き調査によって追跡し、メンタルヘルスの軌跡を明らかにし、災害関連曝露との関連を明らかにすることを目的として、調査を行った。地震の揺れそのものの影響もみるために、東日本大震災が発生した日にほとんど揺れがなかった三重県を対照県として比較した。

B. 研究方法

1. 研究デザイン

研究デザインは前向きコホート研究とした。児童精神科医と心理士が、面接調査を年一回実施し、さらに質問紙によりデータ収集を行った。平成24年度に開始し、10年追跡する予定で開始した。

2. 対象

研究参加者として、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）および対照県である三重県で協力の得られた保育園において2011年3月11日時点で3・4・5歳児クラスに在籍していた子どもとそのきょうだいおよびその親（保護者）とした。

3. ベースライン調査データ収集手順

平成24年度において、震災関連トラウマの曝露状況および子どもとその保護者のメンタルヘルス等の状況を把握すべく、データ収集を行った。その手順は、第一質問紙の配布、第一質問紙の回収と面接、第二質問紙配布と回収とした。また、震災時の担当保育士にも質問紙調査を行った。

3.1 第一質問紙（平成24年度）

（1）属性

家族構成

被災による住環境の変化

子どもの一般的健康について

保護者の健康について

ソーシャルキャピタル（社会的つながり）について
学歴

経済状況およびその変化

職業

（2）子どもの PTSD 評価

Parent Report of the Child's Reaction To Stress (Jones, R.T., Fletcher, K., & Ribb D.R., 2002) をもとに作成した。

（3）保護者のメンタルヘルス

PTSD の評価（IES-R）、うつ・不安の評価（K6）を用いた。

（4）震災体験以外での保護者・子どもの曝露

Index of Exposure to High Intensity WTC Events (Chemtob et al, Arch Pediatr Adolesc Med, 2008) をもとに作成した。

3.2 面接（平成24年度）

児童精神科医または心理士による30～60分の聞き取り調査を親（保護者）と子それぞれに行った。親（保護者）との面接では、親自身と子どもの精神的・身体的健康、PsySTART Rapid Triage System Pynoos R, et al. Comprehensive Textbook of Psychiatry. 2004; Gurwitsch R, et al. Prehospital Disaster Med. 2004) を元に家族の死亡、家の流出、津波曝露、火災曝露等の親自身と子どもの被災体験、虐待・被虐待歴等の家族背景を聞き取った。子どもとの面接では、被災体験、精神的健康と機能、震災以外のトラウマ体験を聞き取った。児童精神科医または心理士は、その聞き取りに基づきチェックリストを埋めた。面接中に不安な様子を見せたり気分が悪くなったりした場合はそれ以

上聞かないようにし、聞き取り後、必要な場合は相談にも応じた。

3.3 第二質問紙（平成24年度）

（1）子どもの問題行動評価

SDQ (Strength and Difficulty Questionnaire, SDQ) (Goodman R, J Child Psychol Psychiatry. 1997; Matsuishi et al, Brain Development, 2008)、CBCL (Child Behavior Checklist) (Achenback, 1991; Toagasaki & Sakano, 1998) を用いた。

（2）養育態度

普段の養育態度とトラウマ体験とのメンタルヘルスに対する交互作用をみるため、Alabama Parenting Questionnaire (Shelton, Frick & Wooton, 1996) をもとに作成した質問紙調査を行った。

（3）家庭環境調査

普段の養育態度とトラウマ体験とのメンタルヘルスに対する交互作用をみるため、育児環境指標 ICCE (Index of Child Care Environment; Amme, et al., 1986) を用いた。

3.4 保育士調査（平成24年度）

（1）担当児の震災への曝露

PsySTART Rapid Triage System 及び Index of Exposure to High Intensity WTC Events をもとに作成。

平成25年度は、心拍変動を測定し、自律神経のバランスからストレス度を評価した。また、子どもには自記式の自尊感情質問紙 (Coopersmith, Self Esteem Inventory) を実施した。さらに、親にも子どものレジリエンスを調査した (Devereux Student Strengths Assessment)。

4. 追跡調査データ収集手順

追跡調査も質問紙、面接により構成した。質問紙調査も、子どもに直接行うことのできる質問紙は補助をつけながら実施した。追跡調査にあたり、捕捉率

を上げるため、対象者に対する支援を入れながらフォローをした。具体的には、児童精神科医または心理士が参加者から話を聞き、支援を行い、さらに必要な支援が必要である場合には専門機関につなげた。さらに、誕生日カード、クリスマスカード、暑中お見舞い等を送付した。また、追跡調査の参加にあたり連携を密にした。さらに、当日風邪でキャンセルなどがあった場合は、後日あらためて調査を実施した。

4.1 親用質問紙調査（平成26年度）

親の PTSD に IES-R、抑うつ・不安に K6、子どものトラウマ症状に TSCC-A (子ども用トラウマ症状チェックリスト)、子どもの PTSD 評価に Parent Report of the Child's Reaction To Stress (Jones, R.T., Fletcher, K., & Ribb D.R., 2002) をもとに作成した質問紙、子どもの問題行動に SDQ (Strength and Difficulty Questionnaire, SDQ) (Goodman R, J Child Psychol Psychiatry. 1997; Matsuishi et al, Brain Development, 2008) および CBCL (Child Behavior Checklist) (Achenback, 1991; Toagasaki & Sakano, 1998)、子どものレジリエンスに (The Devereux Early Childhood Assessment)、養育態度に Alabama Parenting Questionnaire (Shelton, Frick & Wooton, 1996)、不適切養育に ISCPAN Child Abuse Screening Tool- Parent version (ICAST-P) (Runyan et al, 2009)、親のコーピングスタイルにコーピング尺度 (尾関、1993)、子の気質 (Rothbart, Temperament in middle childhood by parent report)、親の社会関係 (ソーシャルキャピタル、社会的ネットワーク、社会的サポート)、生活習慣、居住環境、心理的支援の介入状況、遊びの状況を把握した。

4.2 子ども用質問紙調査（平成26年度）

STAI-C (不安状態 特性)、バールソン児童用抑うつ性尺度 (DSRS-C)、子どもの自尊感情: Self Esteem Inventory (Coopersmith, 1967) を用いた。

4.3 親用面接調査（平成26年度）

震災前および震災後の職業について正確に聴取した。そして、社会的つながり（ソーシャルキャピタル）についてもネットワーク、信頼、互酬性、社会的サポートについて半構造化面接を行った。また、復興遅延というトラウマ、さらに被災による差別の状況についても聴取した。

4.4 子ども用面接調査（平成26年度）

トラウマ後成長（Posttraumatic Growth, PTG）について面接で調査した。

4.5 親用質問紙調査（平成27年度）

親の PTSD に IES-R、抑うつ・不安に K6、子どものトラウマ症状に TSCC-A（子ども用トラウマ症状チェックリスト）、子どもの PTSD 評価に Parent Report of the Child's Reaction To Stress（Jones, R.T., Fletcher, K., & Ribb D.R., 2002）をもとに作成した質問紙、孤独感に UCLA 孤独感尺度、子どもの問題行動に SDQ（Strength and Difficulty Questionnaire, SDQ）（Goodman R, J Child Psychol Psychiatry. 1997; Matsuishi et al, Brain Development, 2008）および CBCL（Child Behavior Checklist）（Achenback, 1991; Toagasaki & Sakano, 1998）、子どものレジリエンスに（The Devereux Early Childhood Assessment）養育態度に Alabama Parenting Questionnaire（Shelton, Frick & Wooton, 1996）、不適切養育に ISCPAN Child Abuse Screening Tool- Parent version（ICAST-P）（Runyan et al, 2009）親のコーピングスタイルにコーピング尺度（尾関、1993）子の気質（Rothbart, Temperament in middle childhood by parent report）親の社会関係（ソーシャルキャピタル、社会的ネットワーク、社会的サポート）生活習慣、居住環境、心理的支援の介入状況、遊びの状況、心理支援の介入状況、起床・就寝時間、食事習慣、外遊びの状況、TV 視聴時間、ゲームの使用時間、スマホ・タブレットの使用時間、通学している小学校名について把握した。

4.6 子ども用質問紙調査（平成27年度）

STAI-C（不安状態 特性）バールソン児童用抑うつ性尺度（DSRS-C）子どもの自尊感情：Self Esteem Inventory（Coopersmith, 1967）、を用いた。また、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの認知・利用状況を把握した。

4.7 親用面接調査（平成27年度）

被災直後、被災後2~3年、また調査当時受けていた支援・サポートとその満足感や必要と思われる支援、サポートについて聴取し、さらに子どもの主な生活の場である学校環境や学校に必要と思われる支援・サポートについて聴取した。

4.8 子ども用面接調査（平成27年度）

MINI-KID（大うつ病エピソード・自殺のみ）について及び被災時の暴露について面接で調査した。

4.9 親用質問紙調査（平成28年度）

親の PTSD に IES-R、抑うつ・不安に K6、子どものトラウマ症状に TSCC-A（子ども用トラウマ症状チェックリスト）、子どもの PTSD 評価に Parent Report of the Child's Reaction To Stress（Jones, R.T., Fletcher, K., & Ribb D.R., 2002）をもとに作成した質問紙、孤独感に UCLA 孤独感尺度、子どもの問題行動に SDQ（Strength and Difficulty Questionnaire, SDQ）（Goodman R, J Child Psychol Psychiatry. 1997; Matsuishi et al, Brain Development, 2008）および CBCL（Child Behavior Checklist）（Achenback, 1991; Toagasaki & Sakano, 1998）、子どものレジリエンスに（The Devereux Early Childhood Assessment）養育態度に Alabama Parenting Questionnaire（Shelton, Frick & Wooton, 1996）、不適切養育に ISCPAN Child Abuse Screening Tool- Parent version（ICAST-P）（Runyan et al, 2009）親のコーピングスタイルにコーピング尺度（尾関、1993）子の気質（Rothbart, Temperament in middle childhood by parent report）親の社会関係（ソーシャルキャピタル、社会的ネットワーク、社会的サポート）生活習慣、居住環境、心理的支援の介入状況、遊びの状

況、心理支援の介入状況、起床・就寝時間、食事習慣、外遊びの状況、TV視聴時間、ゲームの使用時間、スマホ・タブレットの使用時間、通学している小学校名について、地域作りと子どもの支援について、地域内での食べ物の授受について、また収入内の食費の割合を把握した。

4.10 子ども用質問紙調査（平成28年度）
STAI-C（不安状態 特性） パールソン児童用抑うつ性尺度（DSRS-C） 子どもの自尊感情：Self Esteem Inventory (Coopersmith, 1967)、を用いた。また、幸福感、周りの人との関係についても把握した。時間選好性に関する質問を追加した。

また簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）を用いて子どもの栄養摂取状況について調査した。

4.11 親用面接調査（平成28年度）

平成24～26年度までの子どもの状態に関して、どんな支援があったのか、どんな支援を活用したか、地元のステークホルダーとの連携・相談状況、地域の信頼できる人についてどのように子どもの支援に役立ったかを聴取した。また、地域作りがどの程度子どもの支援に役立っているかについても聴取した。

4.12 子ども用面接調査（平成28年度）

普段の遊びの状況や学校、生活上の困ったことなど、また将来の希望に関して面接で調査した。

4.13 親用質問紙調査（平成29年度）

親のPTSDにIES-R、抑うつ・不安にK6、子どものトラウマ症状にTSCC-A(子ども用トラウマ症状チェックリスト)、子どものPTSD評価にParent Report of the Child's Reaction To Stress (Jones, R.T., Fletcher, K., & Ribb D.R., 2002)をもとに作成した質問紙、子どもの問題行動にSDQ (Strength and Difficulty Questionnaire, SDQ) (Goodman R, J Child Psychol Psychiatry. 1997; Matsuishi et al, Brain Development, 2008) およびCBCL (Child Behavior Checklist) (Achenback, 1991; Toagasaki & Sakano, 1998)、子どものレジリエンスに(The

Devereux Early Childhood Assessment)、養育態度にAlabama Parenting Questionnaire (Shelton, Frick & Wooton, 1996)、不適切養育にISCPAN Child Abuse Screening Tool- Parent version (ICAST-P) (Runyan et al, 2009)、親のコーピングスタイルにコーピング尺度(尾関、1993)、子の気質(Rothbart, Temperament in middle childhood by parent report)、思春期における成長に関する質問(Self-Assessment of Pubertal Maturation) (Rasmussen A. R. et al, 2015)、親の社会関係(ソーシャルキャピタル、社会的ネットワーク、社会的サポート)、生活習慣、居住環境、心理的支援の介入状況、遊びの状況、心理支援の介入状況、起床・就寝時間、食事習慣、通学している小・中学校名、転居・転校に関する履歴

4.14 子ども用質問紙調査（平成29年度）

パールソン児童用抑うつ性尺度（DSRS-C） 子どもの自尊感情：Self Esteem Inventory (Coopersmith, 1967)、児童用コンピテンス尺度（桜井、1992）、思春期における成長に関する質問（Self-Assessment of Pubertal Maturation）(Rasmussen A. R. et al, 2015)を用いた。また、幸福感、周りの人との関係についても把握した。外遊びの状況、TV視聴時間、ゲームの使用時間、学校のソーシャルキャピタルに関する質問、及びShort Grit 尺度、夢や大事なものを聞く項目を追加した。

5. 解析方法

本報告では、震災から2年目、3年目、4年目、5年目、6年目のCBCLの総合的問題行動の臨床域の軌跡パターンを明らかにし、震災関連曝露、震災前のトラウマ体験、親のメンタルヘルス、養育行動、ソーシャルキャピタルとの関連を調べた。

（倫理面への配慮）

参加者には調査の説明を行った上で、同意書へ署名して頂いた。個人情報の扱いは、参加者にはリクルート

時に各県の研究者が研究 ID を付与し、得られたデータはすべて研究 ID で管理（連結可能匿名化）し、個人情報と研究 ID の対応表は各県の研究者がそれぞれカギのかかるところに保管することとした。

C. 研究結果

平成 24 年度、25 年度、26 年度、27 年度、28 年度のすべての調査に参加した 140 名を対象とした。被災県が 93 名、対照県が 47 名であった。

被災県において、震災から 2 年目となる平成 24 年度をベースラインとした、その後の平成 25 年度、平成 26 年度、平成 27 年度、平成 28 年度の総合的問題行動の軌跡は以下のものであった。

（総合的問題行動の軌跡）

H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度
(-)77	(-)71	(-)65	(-)64	(-)64
				(+)0
			(+)1	(-)0
		(+)1	(+)1	
		(+)6	(-)5	(-)4
				(+)1
	(+)1		(-)0	
	(+)1	(+)1		
	(+)6	(-)2	(-)2	(-)1
				(+)1
			(+)0	(-)0
		(+)0	(+)0	
(+)4		(-)2	(-)2	
			(+)0	
	(+)2	(-)1		
(+)1	(+)1			
(+)16	(-)6	(-)3	(-)2	(-)2
				(+)0
		(+)1	(-)1	
	(+)0	(+)0		
	(+)3	(-)2	(-)2	
			(+)0	

	(+)10	(-)2	(-)1	(+)1
				(-)0
			(+)1	(-)1
		(+)1	(+)0	
		(+)8	(-)0	(-)0
				(+)0
	(+)8		(-)4	
	(+)4	(+)4		

(-) : 正常・境界域、(+) : 臨床域

この結果から、平成 24、25、26、27、28 年度の 5 年間にわたって問題行動を有していた持続群は 93 名中 4 名 (4.30%) であった。また、平成 24 年度には問題行動がなく、平成 25 年度、26 年度、27 年度および平成 28 年度において問題行動があった子どもが 1 名、平成 24 年度、26 年度および 27 年度に問題がなく、平成 25 年度と 28 年度に問題行動があった子どもが 1 名、平成 24 年度と 25 年度に問題がなく、平成 26 年度、27 年度および 28 年度に問題行動が出てきた子どもが 1 名、平成 24 年度、25 年度および 27 年度に問題がなく、平成 26 年度と 28 年度に問題行動があった子どもが 1 名、平成 24 年度、25 年度および 26 年度に問題がなく、平成 27 年度と 28 年度に問題行動が出てきた子どもが 1 名おり、これらを合計した遅発群は、5 名 (5.38%) であった。また、通年で臨床域でなかった子どもは、64 名 (68.82%) であった。

一方、対照県では遅発群が 47 名中 2 名 (4.26%)、持続群が 0 名で、通年臨床域でなかった子どもは 36 名 (76.60%) であった。

1) 震災関連トラウマ曝露との関連

被災県において、遅発群、持続群の震災関連トラウマ体験および震災前のトラウマ体験の割合について、通年で臨床域ではなかった子どもと比較した。

なお、曝露状況は面接に参加していない場合があり、表 1 と表 2 中の割合は、有効回答を分母とした。

表 1 震災関連トラウマと遅発群との関連

	通年非臨床 域群 (64人)	遅発群 (5人)	p
家屋の部分破壊	8(12.50%)	1(20.00%)	0.89
家屋の全壊	14(21.88%)	1(20.00%)	
震災時、親子分離	19(35.85%)	1(33.33%)	0.93
近親者喪失	8(17.02%)	0(0%)	0.52
遠い親戚・友人喪失	5(12.20%)	1(33.33%)	0.30
津波の目撃	23(41.82%)	2(66.67%)	0.40
火災の目撃	8(14.55%)	2(66.67%)	0.02
津波で流されている人の目撃	3(5.45%)	1(33.33%)	0.06
遺体の目撃	2(3.70%)	0(0%)	0.73

震災関連暴露と遅発群の間には、火災の目撃と津波で流されている人の目撃において関連が見られ、いずれも暴露を受けた割合は、通年非臨床域群に比べ、遅発群で高い傾向にあった。

表 2 震災関連トラウマと持続群との関連

	通年非臨床域群 (64人)	持続群 (4人)	p
家屋の部分破壊	8(12.50%)	0(0%)	0.36
家屋の全壊	14(21.88%)	0(0%)	
震災時、親子分離	19(35.85%)	1(50.00%)	0.68
近親者喪失	8(17.02%)	0(0%)	0.52
遠い親戚・友人喪失	5(12.20%)	0(0%)	0.6
津波の目撃	23(41.82%)	1(50.00%)	0.82
火災の目撃	8(14.55%)	0(0%)	0.56
津波で流されている人の目撃	3(5.45%)	0(0%)	0.73
遺体の目撃	2(3.70%)	0(0%)	0.78

震災関連暴露と持続群の間に関連は見られなかった。

2) 震災前のトラウマ体験との関連

表 3 震災前のトラウマ体験と遅発群との関連

	通年非臨床 域群 (66人)	遅発群 (4人)	p
震災前のトラウマ体験あり	14(21.5%)	1(25.0%)	0.87

震災前にトラウマ体験をしている割合は遅発群と関連していなかった。

表 4 震災前のトラウマ体験と持続群との関連

	通年非臨床域群 (66人)	持続群 (7人)	p
震災前のトラウマ体験あり	14(21.5%)	1(14.3%)	0.65

震災前にトラウマ体験をしている割合は持続群と関連していなかった。

3) 親のメンタルヘルスとの関連

震災後の親のメンタルヘルスが悪化していることが子どもの問題行動のパターンと関連している可能性がある。親のメンタルヘルスを平成 28 年度時点の PTSD 症状あり (IES-R) と抑うつ・不安 (K6) で見た場合を検討したのが以下である。

表 5 親の PTSD 症状ありと遅発群との関連

	通年非臨床域群 (64人)	遅発群 (5人)	p
親の PTSD 症状あり	2(3.13%)	2(40.00%)	0.001

親の PTSD 症状割合は、遅発群において 40.00%と通年非臨床域群に比較して有意に高かった。

表 6 親の PTSD 症状と持続群との関連

	通年非臨床域群 (64人)	持続群 (4人)	p
親の PTSD 症状あり	2(3.13%)	1(25.00%)	0.039

親の PTSD 症状割合は、持続群において 25.00%と通年非臨床域群に比較して有意に高かった。

表 7 親の抑うつ・不安症状ありと遅発群との関連

	通年非臨床域群 (63人)	遅発群 (5人)	p
親の抑うつ・不安症状あり	9(14.29%)	2(40.00%)	0.133

遅発群と親の抑うつ・不安症状には統計的に有意な関連はみられなかったが、遅発群では、40.00%に親の抑うつ・不安症状があった。

表 8 親の抑うつ・不安症状と持続群との関連

	通年非臨床域群 (64人)	持続群 (5人)	p
親の抑うつ・不安症状あり	9(14.29%)	3(75.00%)	0.002

持続群では、75.00%に親の抑うつ・不安症状があり、非臨床域群に比較して有意に高い割合であった。

このような関連は、対照県では見られなかった。

4) 養育態度との関連

アラバマ養育スケール (APQ) の合計スコアの平均値

について、遅発群、持続群それぞれ算出し、通年非臨床域群と比較した。APQ は高いスコアの方が望ましくない養育態度 (体罰、一貫性のない育児、監督不足、積極的に関わらない、ほめない等) であることを示す。

表 9 養育態度と遅発群との関連

	通年非臨床域群 (63人)	遅発群 (5人)	p
APQ スコア 平均値 (SD)	61.0(11.6)	70.8(8.0)	0.07

親の不適切な養育が、子どもの問題行動に関連している可能性が示された。

対照県においても同様の傾向がみられた (通年非臨床域群: 62.9 ± 10.4 vs. 遅発群: 70.5 ± 17.7 , $P=0.33$)。

表 10 養育態度と持続群との関連

	通年非臨床域群 (63人)	持続群 (4人)	p
APQ スコア 平均値 (SD)	61.0(11.6)	86.8(16.2)	0.40

親の不適切な養育が、子どもの問題行動に関連している可能性が示された。

5) 震災後のソーシャルキャピタルとの関連

ソーシャルキャピタルは様々な質問で測定できるが、ここではその中心的な概念である「地域住民同士の信頼感」平成 28 年度時点における認知で測定したものの結果を示す。

表 11 震災後のソーシャルキャピタルと遅発群との関連

	通年非臨床域群 (63人)	遅発群 (4人)	p
地域住民同士の信頼が低いと認知している割合	12(19.05%)	1(25.00%)	0.770

遅発群と通年非臨床域群で、震災後（平成 28 年度時点）のソーシャルキャピタルに有意な差はみられなかった。

対照県でも同様であった（ $p=0.41$ ）。

表 12 震災後のソーシャルキャピタルと持続群との関連

	通年非臨床域群 (63人)	持続群 (4人)	p
地域住民同士の信頼が低いと認知している割合	12(19.05%)	4(100%)	<0.001

持続群では、通年非臨床域群に比較して、震災後（平成 28 年度時点）のソーシャルキャピタルが低い割合有意に高かった。

D. 考察

被災 3 県の沿岸部において、震災後 6 年が経過して問題行動を示す遅発群の割合は 5.38%、持続群は 4.30%であった。

どのような要因で通年非臨床群とこれら遅発群、持続群になるのかを検討したところ、まず震災関連トラ

ウマの曝露の影響（火災の目撃と津波で流された人の目撃）が、問題行動の遅延発生に関連している可能性が示された。この結果は、平成 24～27 年度までの 5 年間のデータに基づく検討でも同じ結果であった（平成 27 年度報告書）。一般的にトラウマ体験に基づく精神・行動における症状はイベントに曝露した直後にもっとも多く発現する。震災当時の被災状況が数年後に問題行動を発生させているかもしれない、遅延発生している子どもは、ほかの要因によって、新たに問題行動を生じている可能性や、以前の調査において、臨床域のスコアには至らなかったまでも、潜在的に高得点であったという仮説も考えられる。また遅発群は人数が少ないため、統計処理が安定していないという影響も考えられた。そのほか、親の養育態度が問題行動の持続に関連している可能性も示唆された。

次に、親の平成 28 年度時点の PTSD 症状と子どもの問題行動の遅延発生と持続、および親の平成 28 年度時点の抑うつ・不安症状と子どもの問題行動の持続に関連がみられた。子どもに問題行動がある状態から、回復をしていくためには、親のメンタルヘルスが安定する必要があることは、十分に考えられる。また、親の抑うつ・不安症状と遅発群との関連が弱かったことから、親のメンタルヘルスは新たに生じる子どもの問題行動よりも、持続している問題行動からの回復に影響を与えている可能性が考えられる。

次に親の養育態度が問題行動の遅延発生に、そしてソーシャルキャピタルが問題行動の持続に関連している可能性も示された。親の養育態度は、震災後の子どもの養育環境にかかわる要因のため、震災当時の被害状況の大きさよりも長期的には子どもの精神・行動における問題を発生させる要因になりえると考えられる。またソーシャルキャピタルについても、社会のつながりが希薄であると考えている場合においてもそれは子どもの養育環境に関連しているのかもしれない。そして社会に対する信頼感が薄い環境で育てられている子どもは成長しても、行動上の問題を保持しやすいという仮説も考えられる。

本研究の強みは対照県においても同じプロトコ

ルで調査をし、比較することができる点である。今回確認した関係性において、親の養育態度は遅延発生する問題行動と関連しており、これは通常の臨床においてみられる傾向である。よって、当然被災当時の体験はその後の問題行動の発生に影響を与えるであろうが、その持続にはその後の親と子どもの関係性が影響しているのかもしれない。

E. 結論

未就学期に東日本大震災を経験した子どものうち、経年変化で5年間観察したところ、持続する問題行動を有する子どもおよび遅発する子どもが一定の割合でいることがわかった。その要因と考えられたのは介入可能な環境要因、とくに親の養育態度、親のメンタルヘルス、そしてソーシャルキャピタルといった社会環境であった。この調査結果を今後の震災対策に生かすことが望まれる。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表等

奥山真紀子：愛着形成と家族へのサポート，川崎市小学校通級指導教室全体研修会．川崎市．2017.6.8

奥山真紀子：子どもたちのこころを取り巻く問題，羽村市学校保健会定期総会特別講演会．羽村市．2017.7.8

奥山真紀子：親子の愛着と子どもの心の発達，公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター主催 心のケア研修．石巻市．2017.9.22

大島典子 上田敦子 山本佳子 植松秋 佐藤拓 増子博文 奥山真紀子：東日本大震災後の福島における子育て世代を取り巻く環境について～心理社会的側面から～.第16回 日本トラウマティックストレス学会.ポスター発表(抄録集 pp6). 武蔵野大学 有明キャンパス. 2017.6.10-11

上田敦子 山本佳子 大島典子 佐藤拓 黒田舞 植松秋 増子博文 奥山真紀子：子どもの描画に認められる東日本大震災の影響.第58回 日本児童青年精神医学会.ポスター発表.奈良春日野国際フォーラム 東大寺総合文化センター. 2017.10.5-7

伊角彩・藤原武男・八木淳子・本間博彰・増子博文・長尾圭造・奥山真紀子：被災地における子どもの問題行動と虐待の因果推論.第28回日本疫学会学術集会.ポスター発表・査読あり.福島.2018.2.3

H. 知的財産権の出願・登録状況

1.特許取得

特になし

2.実用新案登録

特になし

3.その他

特になし

H29 年度 被災地の子どもたちのメンタルヘルス～経時的変化に関するコホート研究調査 研究協力者 合計

49 名

三重県

三浦 光子

新居 愛

佐野 法子

大澤 万伊子

研究協力者

豊田 洋子

玉山 宏美

下田 章子

木津喜 雅

2 名

中澤 美枝

菅沼 恒平

黒田 舞

長尾 圭造

後藤 沙苗

福島県

捻木 雄史

土井 理美

阿部 真貴子

小野寺 汐美

研究協力者

桃井 真帆

舟橋 敬一

13 名

山本 佳子

星野 崇啓

岩手県

小野 舟瑛

増子 博文

本多 由起子

研究協力者

高藤 弘子

鈴木 潤

宮城県

三木 崇弘

19 名

八幡 千鶴子

上田 敦子

研究協力者

水木 理恵

八木 淳子

佐藤 まゆみ

植松 秋

15 名

井上 祐子

山家 健仁

小野寺 俊

大島 典子

藤原 武男

渡部 昌大

吉岡 靖史

岩崎 薫

後藤 紗織

赤井 利奈

小山 祐奈

内出 希

大町 真理子

佐藤 拓

飯尾 友紀子

被災と子どものかころの長期的健康調査

第5回追跡調査

アンケート

(保護者の方用 : 保護者の方ご本人について)

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

この度は、調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

この質問票は、保護者の方ご本人のふだんの様子について問うものです。

全部答えるのに 20 分ほどかかります。

決められた質問票を訳して用いているものもありますので、違和感のある質問や繰り返しの質問もあるかもしれませんが、あまり深く考えずに、直感的にお答えください。

面接時に回収させていただきますので、それまでにご回答の上、面接会場にご持参ください。

よろしく願いいたします。

記入日 年 月 日

記入した人 _____ 年齢 () 歳 性別 1 . 男 2 . 女

子ども本人との関係：母親 父親 その他 ()

1. まず、このアンケートにお答えくださっているお子さんの保護者の方ご自身についてお聞きします。

(1) 現在、一緒に住んでいる方すべてに をつけてください。関係は、お子さんとの関係でお考えください。

1. 母親 2. 父親 3. きょうだい (この質問票の対象の子どもは含めず) 人 4. 祖母 5. 祖父
6. その他 ()

(2) あなたの現在の婚姻状況について、当てはまるものに をつけてください。

- 既婚・事実婚
未婚
離別
死別
その他 ()

(3) 現在のお住まいについて、当てはまるものに をつけてください。

1. 震災前と同じ自宅 2. 仮設住宅(みなしも含む) 3. 復興住宅(災害公営住宅) 4. 被災後に建てた家 5. 親戚等誰か知り合いの家
6. その他 ()

(4) あなたの健康状態は、次のどの項目にあてはまりますか？

- 良い
まあ良い
ふつう
あまり良くない
良くない

(5) 現在、1日にどれくらいタバコを吸いますか？

- 喫煙したことがない
- 以前は喫煙していたがやめた
- 1本～10本
- 10本～20本
- 21本以上

(6)(5)で～とお答えになった方にお聞きします。あなたは家でどれくらいタバコを吸いますか？

- いつも
- ときどき
- まれに
- 全くない

(7)(5)で～とお答えになった方にお聞きします。あなたはお子さんの前でどれくらいタバコを吸いますか？

- いつも
- ときどき
- まれに
- 全くない

(8) 最近一ヶ月、どの程度の^{ひんど}頻度でアルコール類を飲んでいましたか？

- 全く飲まない
- 月に1～3回
- 週に1～3回
- 週に4～6回
- 毎日

(9) 現在のあなたの身長、体重をご記入ください。

身長 cm 体重 kg

(10) あなたとあなたの配偶者・パートナーは、次の病気や状態のなかで過去1年間に診断されたり、治療を受けたりしたものはありますか。当てはまるものに をつけてください。

【あなた】

1. 糖尿病	10. 他の肺の病気 (肺がんを除く)	17. 手足の関節炎・リウマチ
2. 高脂血症		18. 偏頭痛
3. うつ病や心の病気	11. 胃・十二指腸の病気 (がんをのぞく)	19. 睡眠障害
4. 高血圧	12. 骨折(事故による外傷を ふくむ)	20. 子宮や卵巣の病気(がんをのぞく)
5. 脳卒中		21. 不妊症
6. 狭心症・心筋 梗塞	13. 肝臓病(肝炎や肝硬変)	22. 皮膚の病気(皮膚がんをのぞく)
7. その他の心臓病	14. 胆石	23. 悪性腫瘍(がん)
8. 喘息	15. 肺炎(急性・慢性)	24. わからない
9. 慢性気管支炎	16. 頸椎や腰椎の病気	25. その他()

【あなたの配偶者・パートナー】*いない場合は飛ばしてください。

1. 糖尿病	10. 他の肺の病気 (肺がんを除く)	17. 手足の関節炎・リウマチ
2. 高脂血症		18. 偏頭痛
3. うつ病や心の病気	11. 胃・十二指腸の病気 (がんをのぞく)	19. 睡眠障害
4. 高血圧	12. 骨折(事故による外傷を ふくむ)	20. 子宮や卵巣の病気(がんをのぞく)
5. 脳卒中		21. 不妊症
6. 狭心症・心筋 梗塞	13. 肝臓病(肝炎や肝硬変)	22. 皮膚の病気(皮膚がんをのぞく)
7. その他の心臓病	14. 胆石	23. 悪性腫瘍(がん)
8. 喘息	15. 肺炎(急性・慢性)	24. わからない
9. 慢性気管支炎	16. 頸椎や腰椎の病気	25. その他()

(1 1) あなたご自身の歯や、歯みがきの様子についてうかがいます。

1日あたりどれくらい歯みがきをしますか？

1日2回以上

1日1回

毎日はみがかない

わからない

(1 2) 歯みがきをいつ行っていますか？あてはまるものすべてに○をしてください。

起床後

朝食後

昼食後

夕食後

就寝前

(1 3) 1回の歯みがきにかかる時間はどのくらいですか？

()分程度

(1 4) 歯みがきには何を使用しますか？使用しているものすべてに○をしてください。

歯ブラシ

電動歯ブラシ

フロス

歯間ブラシ

歯みがき粉

(1 5) 歯科の定期検診に行っていますか？

はい

いいえ

(16) 上の質問で はい、とお答えの方へお聞きします。
何か月おきに行っていますか？

() か月

(17) 歯科医師、または歯科衛生士から、歯みがき粉をつけて歯みがきするよ
うに指導されていますか？

はい
いいえ

(18) 現在、むし歯がありますか。または過去にむし歯がありましたか。
(あてはまる番号一つに○。1または2を選んだ方は本数も教えてください)

ある () 本
あった(治療済み) () 本
ない
わからない

(19) 上の質問(18)で ある、を選んだ方におたずねします。

現在、むし歯を治療中ですか。

はい
いいえ

(20) 上の質問(19)で いいえ、を選んだ方におたずねします。
現在むし歯があり、治療していない主な理由は何ですか。(あてはまる番号一つに○)

ちりょう しはら むずか
治療の支払いが難しいと考えたため

いや
歯医者に行くのが嫌なため

きょり とお つういん こんなん
歯医者までの距離が遠く、通院することが困難であったため

たぼう
多忙で、歯医者に行く時間がなかったため

その他の理由(具体的に:)

(21) 習慣的によく飲むものはありますか。

はい
いいえ

(22) 上の質問(21)で はい、とお答えの方へ。
以下のものを1日にどれくらい飲みますか。

お茶 () 杯
コーヒー () 杯
炭酸飲料・ジュース () 杯
その他 (具体的に:) 杯

(23) かんじよく
間食を取りますか。

きそくただ
規則正しく(決まった時間のみ、など)とる

ふきそく
不規則にとる

とらない

(2 4) 気軽に相談事ができる親族や友人は何人いますか？

_____人

(2 5) 現在住んでいる地域で、ご近所の人々はお互いに信頼し合っていると思いますか？ 当てはまるところにひとつだけ をつけてください。

- 1 . そう思う
- 2 . どちらかというと思う
- 3 . どちらかというと思わない
- 4 . そう思わない

(2 6) 現在住んでいる地域で、ご近所の人々はお互いに助け合っていると思いますか？ それぞれ当てはまるところにひとつだけ をつけてください。

- 1 . そう思う
- 2 . どちらかというと思う
- 3 . どちらかというと思わない
- 4 . そう思わない

(7) 育児サークルやPTA、市民団体、生協活動、自治会、宗教団体などの組織やクラブに所属していますか？ 「はい」か「いいえ」に をつけ、はい、とお答えの方はその数も教えてください。

- 1 . はい 所属数 () 人
- 2 . いいえ

2. 次に、あなた自身の気持ちについてうかがいます。

下記の事項はいずれも、強いストレスを伴うような出来事にまきこまれた方々に、後になって生じることのあるものです。東日本大震災に関して、この1週間では、1～22のそれぞれの項目の内容について、どの程度強く悩まされましたか。あてはまる番号に をつけてください。(なお、答えに迷われた場合は、不明とせず、最も近いと思う物を選んでください。)

		全 く な し	少 し	中 く ら い	か な り	非 常 に
1	どんなきっかけでも、その事を思い出すと、そのときの気持ちがぶり返してくる。	0	1	2	3	4
2	睡眠の途中で目が覚めてしまう	0	1	2	3	4
3	別のことをしていても、そのことが頭から離れない	0	1	2	3	4
4	イライラして、怒りっぽくなっている	0	1	2	3	4
5	そのことについて考えたり思い出すときは、なんとか気を落ち着かせるようにしている	0	1	2	3	4
6	考えるつもりはないのに、そのことを考えてしまうことがある	0	1	2	3	4
7	そのことは、実際には起きなかったとか、現実のことではなかったような気がする	0	1	2	3	4
8	そのことを思い出させるものには近寄らない	0	1	2	3	4
9	そのときの場面が、いきなり頭に浮かんでくる	0	1	2	3	4
10	神経が敏感 <small>しんけい びんかん</small> になっていて、ちょっとしたことで、どきどきしてしまう	0	1	2	3	4
11	そのことは考えないようにしている	0	1	2	3	4
12	そのことについては、まだいろいろな気持ちがあるが、それには触 <small>ふ</small> れないようにしている	0	1	2	3	4
13	そのことについての感情は、麻痺 <small>まひ</small> したようである	0	1	2	3	4
14	気がつくとき、まるでその時に戻 <small>もど</small> ってしまったかのよう に、ふるまったり感じたりすることがある	0	1	2	3	4
15	寝つきが悪い	0	1	2	3	4
16	そのことについて、感情が強くこみあげてくること がある	0	1	2	3	4

		全くなし	少し	中くらい	かなり	非常に
17	そのことをなんとか忘れようとしている	0	1	2	3	4
18	物事に集中できない	0	1	2	3	4
19	そのことを思い出すと、身体が反応して、汗ばんだり、息苦しくなったり、むかむかしたり、ドキドキすることがある	0	1	2	3	4
20	そのことについて夢を見る	0	1	2	3	4
21	<small>けいかい</small> 警戒して用心深くなっている気がする	0	1	2	3	4
22	そのことについては話さないようにしている	0	1	2	3	4

3. 次に、あなた自身についておうかがいします。

過去 30 日の間にどれくらいの頻度ひんどで次のことがありましたか。あてはまる欄らんに をつけてください。

		全くない	少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
1	<small>しんけいかびん</small> 神経過敏に感じましたか。	1	2	3	4	5
2	<small>ぜつぼうてき</small> 絶望的だと感じましたか。	1	2	3	4	5
3	そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	1	2	3	4	5
4	気分が沈 <small>しず</small> み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか。	1	2	3	4	5
5	何をするのも骨折 <small>ほねあ</small> りだと感じましたか。	1	2	3	4	5
6	自分は価値のない人間だと感じましたか。	1	2	3	4	5

4. 次に、あなたの気持ちや周りの人との関係についてお伺いします。

あなたはご自分が幸せだと思いますか？あてはまる点数1つに○をつけてください。

幸せでない	←	→	たいへん幸せ																	
0点	---	1点	---	2点	---	3点	---	4点	---	5点	---	6点	---	7点	---	8点	---	9点	---	10点

5. 平成28年の1年間で、世帯全体の合計収入額（年金を含みます）は次のどれにあてはまりますか（税引き前）？義援金や見舞金は除きます。

当てはまる番号に をつけて下さい。

1	100万円未満
2	100～200万円未満
3	200～300万円未満
4	300～400万円未満
5	400～500万円未満
6	500～600万円未満
7	600～700万円未満
8	700～800万円未満
9	800～1000万円未満
10	1000万円以上

質問はこれで終わりです。
ご協力ありがとうございました。

*最後に、ご記入漏れがないかもう一度ご確認ください。

被災と子どものかころの長期的健康調査

第 5 回追跡調査

アンケート

(保護者の方用 : お子さんについて)

ID

--	--	--	--	--	--	--	--

この度は、調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

この質問票は、お子さんのふだんの様子について問うものです。

全部答えるのに30～40分ほどかかります。

決められた質問票を訳して用いているものもありますので、違和感のある質問や繰り返しの質問もあるかもしれませんが、あまり深く考えずに、直感的にお答えください。

面接時に回収させていただきますので、それまでにご回答の上、面接会場にご持参ください。

よろしく願いいたします。

記入日 年 月 日

記入した人 _____ 年齢()歳 性別 1. 男 2. 女

子ども本人との関係：母親 父親 その他()

この質問票で対象となっているお子さんが現在通っている学校名

_____ 小学校

_____ 中学校

1. この質問票で対象となったお子さんについてお聞きします。

(1) あなたのお子さんは過去1年の間に、こころの問題や気になる行動のことで医療機関を受診しましたか？

いいえ
はい

(2) (1)で はいと答えた方へお聞きします。現在も通院していますか？

はい
いいえ

(3) あなたのお子さんは過去1年の間に、こころの問題や気になる行動のことで医師や心理士、教育関係者等に相談を受けたことがありますか。

(ア) いいえ
(イ) はい

(4) (3)で はいと答えた方へお聞きします。現在も相談を受けていますか。

はい
いいえ

(5) 平日に起きる時間、寝る時間について、あてはまる番号を選び、□には時間を記入して下さい。

起きる時間	寝る時間
午前 □□ 時 □□ 分 起きる時間は不規則である	午前 □□ 時 □□ 分 午後 □□ 時 □□ 分 寝る時間は不規則である

(6) (対象のお子さんが男の子の場合) お子さんはもう声変わりしましたか？

はい
いいえ

(7) (はいの場合) 何歳のときでしたか？

() 歳のとき

(8)(対象のお子さんが女の子の場合)初めての月経はもうありましたか？

はい
いいえ

(9)(はいの場合)何歳のときでしたか

()歳のとき

(10)お子さんは特別な支援を必要とするクラスに通っていますか。

いいえ
はい

(11)お子さんは、今の学年になってから今まで学校を休みましたか。

* 休みには、学校自体が臨時休業りんじきゅうぎょうとなった場合は含みません。

がっきゅうへいさ
(学級閉鎖、台風など)

休んだ
休まなかった
わからない

(12)上の質問()で 休んだ、を選んだ方にお聞きします。休んだ理由としてあてはまる、およその日数を記入してください。

病気やけが ()日
忌引ききびなど家庭の理由 ()日
本人が行きたがらなかった ()日
その他の理由 ()日

(13)震災後から現在まで、この質問票の対象のお子さんが「転居したタイミング」と「転校したタイミング」の月に○をつけてください。その年に転居・転校をしていない場合は「していない」に○をつけてください。

* 同じ月内で何度も転居をしている場合も○は1つで結構です。

* 以下の例を参考に次ページに記入してください。

(例)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	していない
平成 22 年度 (22 年 4 月~ 23 年 3 月)	転居	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○
	転校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○
平成 23 年度 (23 年 4 月~ 24 年 3 月)	転居						○							
	転校						○							
平成 24 年度 (24 年 4 月~ 25 年 3 月)	転居													○
	転校													○
平成 25 年度 (25 年 4 月~ 26 年 3 月)	転居													○
	転校													○
平成 26 年度 (26 年 4 月~ 27 年 3 月)	転居	○												
	転校													○
平成 27 年度 (27 年 4 月~ 28 年 3 月)	転居													○
	転校													○
平成 28 年度 (28 年 4 月~ 29 年 3 月)	転居													○
	転校									○				
平成 29 年度 (29 年 4 月~ 30 年 3 月)	転居									/	/	/	/	○
	転校									/	/	/	/	○

転居も転校も同時にしている場合

転居のみで転校はしていない場合

転校のみで転居はしていない場合

↓ こちらに記入をお願いいたします。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	していない
平成 22 年度 (22 年 4 月~ 23 年 3 月)	転居	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
	転校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
平成 23 年度 (23 年 4 月~ 24 年 3 月)	転居													
	転校													
平成 24 年度 (24 年 4 月~ 25 年 3 月)	転居													
	転校													
平成 25 年度 (25 年 4 月~ 26 年 3 月)	転居													
	転校													
平成 26 年度 (26 年 4 月~ 27 年 3 月)	転居													
	転校													
平成 27 年度 (27 年 4 月~ 28 年 3 月)	転居													
	転校													
平成 28 年度 (28 年 4 月~ 29 年 3 月)	転居													
	転校													
平成 29 年度 (29 年 4 月~ 30 年 3 月)	転居								/	/	/	/	/	/
	転校								/	/	/	/	/	/

* 参考までに

平成 22 年→ 2010 年 平成 23 年→ 2011 年 平成 24 年→ 2012 年
 平成 25 年→ 2013 年 平成 26 年→ 2014 年 平成 27 年→ 2015 年
 平成 28 年→ 2016 年 平成 29 年→ 2017 年 平成 30 年→ 2018 年

(1 6) お子さんは、歯みがきをいつ行っていますか？あてはまるものすべてに○をしてください。

起床後
朝食後
昼食後
夕食後
就寝前

(1 7) 1 回の歯みがきにかかる時間はどのくらいですか？

() 分程度

(1 8) 歯みがきには何を使用しますか？使用しているものすべてに○をしてください。

歯ブラシ
でんどう
電動歯ブラシ
フロス
しかん
歯間ブラシ
歯みがき粉

(19) 歯科医師、または歯科衛生士から、歯みがき粉をつけて歯みがきするように指導されていますか？

はい

いいえ

(20) お子さんには現在、むし歯がありますか。または過去にむし歯がありましたか。(あてはまる番号一つに○。1または2を選んだ方は本数も教えてください)

ある () 本

あった(治療済み) () 本

ない

わからない

(21) 上の質問(20)で ある、を選んだ方におたずねします。

現在、むし歯を治療中ですか。

はい

いいえ

わからない

(22) 上の質問(21)で いいえ、を選んだ方におたずねします。お子さんに現在むし歯があり、治療していない主な理由は何ですか。(あてはまる番号一つに○)

治療の支払いが難しいと考えたため

本人が(行くのが)嫌だと言ったため

歯医者までの距離が遠く、通院することが困難であったため

多忙で、歯医者に連れて行く時間がなかったため

むし歯が乳歯だったので、永久歯へ生え変わればよいと考えたため

その他の理由(具体的に:)

2. **対象となったお子さん**について、以下のそれぞれの質問項目について、あてはまらない・まああてはまる・あてはまる、のいずれかに をつけてください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのお子さんのここ半年くらいの行動について答えてください。

		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
1	他人の気持ちをよく気づかう	1	2	3
2	おちつきがなく、長い間じっとしてられない	1	2	3
3	頭がいたい、お腹がいたい、気持ちが悪いなどと、よくうったえる	1	2	3
4	他の子どもたちと、よく分け合う(おやつ・おもちゃ・鉛筆など)	1	2	3
5	カッとなったり、かんしゃくをおこしたりする事がよくある	1	2	3
6	一人でいるのが好きで、一人で遊ぶことが多い	1	2	3
7	素直で、だいたい大人のことをよくきく	1	2	3
8	心配ごとが多く、いつも不安なようだ	1	2	3
9	誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける	1	2	3
10	いつもそわそわしたり、もじもじしている	1	2	3
11	仲の良い友だちが少なくとも一人はいる	1	2	3
12	よく他の子とけんかをしたり、いじめたりする	1	2	3
13	おちこんでしずんでいたたり、涙ぐんでいたたりすることがよくある	1	2	3
14	他の子どもたちから、だいたい好かれているようだ	1	2	3
15	すぐに気が散りやすく、注意を集中できない	1	2	3
16	目新しい場面に直面すると不安ですがりついたり、すぐに自信をなくす	1	2	3

		あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
17	年下の子どもたちに対してやさしい	1	2	3
18	よく大人に対して口答えする	1	2	3
19	他の子から、いじめの対象にされたり、からかわれたりする	1	2	3
20	自分からすすんでよく他人を手伝う（親・先生・子どもたちなど）	1	2	3
21	よく考えてから行動することができる	1	2	3
22	他の人に対していじわるをする	1	2	3
23	他の子どもたちより、大人という方がうまくいくようだ	1	2	3
24	こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3
25	ものごとを最後までやりとげ、集中力もある	1	2	3

3. 以下に子どもについて表現した項目があげられています。

現在または過去6か月以内のお子さんの状態を考えてそれがよくあてはまる場合は2に をつけてください。ややまたはときどきあてはまる場合は1に を、当てはまらない場合は0に をつけてください。中にはお子さんに合わない項目があるかもしれませんが、すべての項目にできるだけお答えください。

よくあてはまる
ややまたはときどき
あてはまる
あてはまらない

1	行動が年齢より幼すぎる	0	1	2
2	アレルギー（具体的に書いて下さい）：	0	1	2
3	よく言い争いをする	0	1	2
4	ぜんそく	0	1	2
5	男（女）子だが、女（男）子のようにふるまう	0	1	2
6	トイレ以外で大便をする	0	1	2
7	<small>じまん</small> 自慢したり、うそぶいたりする	0	1	2
8	集中力や注意力が長続きしない	0	1	2
9	ある考えをふりはらうことができない; <small>きょうはくかんねん</small> 強迫観念 （具体的に書いて下さい）：	0	1	2
10	じっとすわってられない、落ち着きがない、または多動	0	1	2
11	大人にまとわりつく、または頼りにし過ぎている	0	1	2
12	ひとりぼっちで寂しいとこぼす	0	1	2

よくあてはまる
 ややまたはとまじく
 あてはまる
 あてはまらない

13	こんらん 混乱したり、わけ 訳がわからなくなっているように 見える	0	1	2
14	よく泣く	0	1	2
15	ぎゃくたい 動物を虐待する	0	1	2
16	ざんこく 他人に残酷で、いじめたり、いじわるしたりする	0	1	2
17	くうそう 空想したり、考えにふけったりする	0	1	2
18	わざと自分を傷つけたり、死のうとしたりする	0	1	2
19	たくさんの注目を引きたがる	0	1	2
20	自分の持ち物を壊す	0	1	2
21	家族や他人の持ち物を壊す	0	1	2
22	家でいうことをきかない	0	1	2
23	学校でいうことをきかない	0	1	2
24	ちゃんとした食事をしていない	0	1	2
25	他の子と仲よくできない	0	1	2
26	やってはいけない事をした後でも悪いとは思わないようだ	0	1	2
27	しゅと すぐに嫉妬する	0	1	2
28	食べ物でないものを食べたり飲んだりする（菓子は含めません；具体的に書いて下さい）：	0	1	2

よくあてはまる
 ややまたはじょうごき
 あてはまる
 あてはまらない

29	特定の動物、(学校以外の)特定の状況や場所を怖がる (具体的に書いて下さい):	0	1	2
30	学校に行くのを怖がる	0	1	2
31	悪いことを考えたり、したりするかもしれないと心配する	0	1	2
32	かんべき 完璧でなければいけないと思う	0	1	2
33	誰も大切に思ってくれないと感じたり、こぼしたりする	0	1	2
34	他人にねらわれていると感じる	0	1	2
35	自分には価値がないか、 ^{おと} 劣っているように感じる	0	1	2
36	よくケガをし、事故にあいやすい	0	1	2
37	よくつかみあいのケンカをする	0	1	2
38	よくからかわれる	0	1	2
39	悪い事をする子達とたむろする	0	1	2
40	存在しない音や声がきこえる(具体的に書いて下さい):	0	1	2
41	しょうどうてき 衝動的だったり、じっくり考えないで行動する	0	1	2
42	他人といるより一人でのいるのを好む	0	1	2

よくあてはまる
 ややまたはとまどむ
 あてはまる
 あてはまらない

4 3	うそ 嘘をついたり、だましたりする	0	1	2
4 4	爪をかむ	0	1	2
4 5	しんけいしつ 神経質あるいは きんちよう 緊張している	0	1	2
4 6	体がひきつったりピクピク動いたりする(具体的に 書いて下さい):	0	1	2
4 7	怖い夢をみる	0	1	2
4 8	他の子から好かれていない	0	1	2
4 9	便秘	0	1	2
5 0	きよくたん 極端に怖がりあるいは心配性	0	1	2
5 1	めまいを感じる	0	1	2
5 2	自分が悪いと思いつ過ぎる	0	1	2
5 3	食べ過ぎる	0	1	2
5 4	疲れ過ぎている	0	1	2
5 5	太り過ぎている	0	1	2
5 6	医学的原因がみつからない身体的な 問題： shintaiteski	0	1	2
	a. 痛み(腹痛や頭痛ではなく)	0	1	2
	b. 頭痛	0	1	2
	c. 吐き気、気分の悪い	0	1	2

よくあてはまる
 ややまたはごくまれ
 あてはまる
 あてはまらない

	d. 目の問題（メガネ等で治せないもの） （具体的に書いて下さい）：	0	1	2
	e. 発疹や他の皮膚 ^{ひふ} の問題	0	1	2
	f. 腹痛や胃けいれん	0	1	2
	g. 吐く、もどす	0	1	2
	h. その他（具合的に書いて下さい）：	0	1	2
57	人に暴力をふるう	0	1	2
58	皮膚や体の他の部分をつついたりほじくったりする （具合的に書いて下さい）：	0	1	2
59	人前で自分の性器をいじる	0	1	2
60	自分の性器をいじり過ぎる	0	1	2
61	学校の成績が悪い	0	1	2
62	運動神経が悪くて不器用	0	1	2
63	年上の子といっしょにいるのを好む	0	1	2
64	年下の子といっしょにいるのを好む	0	1	2
65	絶対にしゃべろうとしない	0	1	2
66	ある行動を何度も繰り返す；強 ^{きょうはくこうい} 迫 ^{はく} 行為 ^{こうい} （具体的に書いて下さい）：	0	1	2
67	家出をする	0	1	2
68	よくわめく	0	1	2

よくあてはまる
 ややまたはとまごむ
 あてはまる
 あてはまらない

69	人に打ち明けないで ^{ひみつ} 秘密にする	0	1	2
70	存在しないものが見える(具体的に書いて下さい):	0	1	2
71	人目を気にしすぐに恥ずかしくなる	0	1	2
72	放火する	0	1	2
73	性的な問題(具体的に書いて下さい):	0	1	2
74	目立ちたがり屋でおどけたりする	0	1	2
75	内気、 ^{おくびょう} 臆病	0	1	2
76	たいていの子より睡眠時間が短い	0	1	2
77	昼寝も含めて、たいていの子より睡眠時間が長い (具体的に書いて下さい):	0	1	2
78	大便をぬりたくったり、もてあそんだりする	0	1	2
79	しゃべり方の問題(具体的に書いて下さい):	0	1	2
80	ぼかんと一点をみつめる	0	1	2
81	家の中で ^{ぬす} 盗みをする	0	1	2
82	家の外で ^{ぬす} 盗みをする	0	1	2

あてはまらない
あてはまる
ややまたはじょうご
よくあてはまる

8 3	不必要な物をためこむ（具体的に書いて下さい）：	0	1	2
8 4	変な行動（具体的に書いて下さい）：	0	1	2
8 5	変な考え（具体的に書いて下さい）：	0	1	2
8 6	<small>がんこ</small> 頑固、 <small>ふきげん</small> 不機嫌、イライラ	0	1	2
8 7	気分や感情が突然変わる	0	1	2
8 8	よくすねる	0	1	2
8 9	<small>うたく</small> 疑り深い	0	1	2
9 0	ののしったり、 <small>ひ</small> 卑わいな言葉を使う	0	1	2
9 1	自殺することについて話す	0	1	2
9 2	寝ているときに話したり歩いたりする変な行動（具体的に書いて下さい）：	0	1	2
9 3	しゃべり過ぎる	0	1	2
9 4	人をよくからかう	0	1	2
9 5	かんしゃく持ち	0	1	2
9 6	セックスのことを考え過ぎる	0	1	2
9 7	人をおどす	0	1	2
9 8	指しゃぶり	0	1	2
9 9	きちんとあるいは <small>せいけつ</small> 清潔にしようと気にし過ぎる	0	1	2

		あてはまらない	あてはまる ややまたはときどき	よくあてはまる
100	睡眠の問題（具体的に書いて下さい）：	0	1	2
101	<small>なま</small> 怠け、学校をさぼる	0	1	2
102	活動的でなく、動作がのろく、元気がない	0	1	2
103	楽しくなく、悲しく、落ち込んでいる	0	1	2
104	普段より <small>そうぞう</small> 騒々しい	0	1	2
105	酒を飲んだり、病のためでなく薬を使っている（具体的に書いて下さい）：	0	1	2
106	<small>きぶつはそん</small> 器物破損	0	1	2
107	日中おもらしをする	0	1	2
108	おねしょをする	0	1	2
109	めそめそ泣き言をいう	0	1	2
110	男（女）子だが女（男）子になりたがる	0	1	2
111	引きこもって他人と関わりを持とうとしない	0	1	2
112	心配する	0	1	2
113	これまであげていないお子さんの問題を書いてください。	0	1	2

4. 過去 1 か月の間のお子さんの様子にあてはまる番号を選んでください。

		まったくこのとおり	だいたいこのとおり	少し合っている	ほとんど合っていない	まったくちがう
1	しょうらい 将来について、あかめんい 明るい面を言うことができる	1	2	3	4	5
2	じぶん 自分のベストをく 尽くそうとする	1	2	3	4	5
3	ばか 馬鹿にされたり、わるぐちい 悪口を言われても、うまく たいしょ 対処することができる	1	2	3	4	5
4	たにん 他人にきちんとあいさつ 挨拶することができる	1	2	3	4	5
5	おとな 大人がしじ 指示しなくとも、みずか がっこう 自らの学校の準備、 しゅくだい 宿題、いえ 家の手伝いができる	1	2	3	4	5
6	ひつよう 必要なとき 時にはとき 適切にてきせつ アドバイスを求めると もと ことができる	1	2	3	4	5
7	しょうらい 将来よいけっか 結果となるように、いまほ 今欲しいものを あきらめたり、いや 嫌なことでもじっこう 実行することができる	1	2	3	4	5
8	じぶん 自分がわからなかったことをし 知るために、しつもん 質問 をすることができる	1	2	3	4	5

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

*最後に、ご記入漏れがないかももう一度ご確認ください。

こどもようアンケート



ID

--	--	--	--	--	--	--	--

1. あなたの^{ふだん} ^{せいかつ}の生活について^{おし}教えてください。

(1)あなたは、どのくらい^{こうえん} ^{こうてい}公園や校庭、^あ ^ち ^ろ ^じ空地や路地、^{しぜん} ^{ばしょ}自然の場所

などの^{そと} ^{あそ}外で遊んでいますか？

	^{へいじつ} ^{とうこう} ^び 平日（登校日）	^{きゅうじつ} 休日
^{まった} ^{あそ} 全く遊んでいない	1	1
^{ぶん} ^み ^{まん} 30分未満	2	2
^{ぶん} ^み ^{まん} 30 - 60分未満	3	3
^{じかん} ^み ^{まん} 1 - 2時間未満	4	4
^{じかん} ^み ^{まん} 2 - 3時間未満	5	5
^{じかん} ^み ^{まん} 3 - 4時間未満	6	6
^{じかん} ^み ^{まん} 4 - 5時間未満	7	7
^{じかん} ^み ^{まん} 5 - 6時間未満	8	8
^{じかん} ^い ^{じょう} 6時間以上	9	9

(2) あなたは、どのくらいテレビをみていますか？

	へいじつ とうこうび 平日（登校日）	きゅうじつ 休日
まった あそ 全く遊んでいない	1	1
ぶんみまん 30分未満	2	2
ぶんみまん 30 - 60分未満	3	3
じかんみまん 1 - 2時間未満	4	4
じかんみまん 2 - 3時間未満	5	5
じかんみまん 3 - 4時間未満	6	6
じかんみまん 4 - 5時間未満	7	7
じかんみまん 5 - 6時間未満	8	8
じかんいじょう 6時間以上	9	9

(3)あなたは、どのくらいコンピューターゲーム(テレビゲーム、
パソコンゲーム、^{けいたい}携帯ゲームなど)をしていますか？

	へいじつ とうこうび 平日(登校日)	きゅうじつ 休日
まった あそ 全く遊んでいない	1	1
ぶんみまん 30分未満	2	2
ぶんみまん 30 - 60分未満	3	3
じかんみまん 1 - 2時間未満	4	4
じかんみまん 2 - 3時間未満	5	5
じかんみまん 3 - 4時間未満	6	6
じかんみまん 4 - 5時間未満	7	7
じかんみまん 5 - 6時間未満	8	8
じかんいじょう 6時間以上	9	9

(4) あなたは、どのくらい携帯電話けいたいでんわやスマートフォン・タブレット
 などをつか使っていますか？

	へいじつ とうこうび 平日（登校日）	きゅうじつ 休日
かぞく だれ も 家族の誰も持っていない	0	0
まった あそ 全く遊んでいない	1	1
ぶんみまん 30分未満	2	2
ぶんみまん 30 - 60分未満	3	3
じかんみまん 1 - 2時間未満	4	4
じかんみまん 2 - 3時間未満	5	5
じかんみまん 3 - 4時間未満	6	6
じかんみまん 4 - 5時間未満	7	7
じかんみまん 5 - 6時間未満	8	8
じかんいじょう 6時間以上	9	9

2. あなたと学校との関係についてあてはまるものを一つ選んでください。

		全くそう 思わない <small>まったく おも</small>	あまりそう 思わない <small>あまり おも</small>	どちらでも ない	まあそう 思う <small>まあ おも</small>	とてもそう 思う <small>とても おも</small>
1	クラスの雰囲気が好きである <small>ふんいき す</small>	1	2	3	4	5
2	担任の先生が好きである <small>たん にん せんせい す</small>	1	2	3	4	5
3	学校が楽しいと思っている <small>がっこう たの おも</small>	1	2	3	4	5
4	学校の先生やクラスの友だちに 挨拶をしている <small>がっこう せんせい とも あいさつ</small>	1	2	3	4	5
5	担任の先生を信頼している <small>たん にん せんせい しんらい</small>	1	2	3	4	5
6	クラスの友だちを信頼している <small>とも しんらい</small>	1	2	3	4	5
7	学校の行事に積極的に参加して いる <small>がっこう ぎょうじ せっきょくてき さんか</small>	1	2	3	4	5
8	学校でよくイライラすることがあ る <small>がっこう</small>	1	2	3	4	5

3 . あなたの健康状態けんこうじょうたいについてお聞ききします。

(1) あなたは自分の健康状態じぶん けんこうじょうたいについてどう感じかんていますか？あ
てはまる番号ばんごうを一つ〇で囲ひとんでください。

よい

まあよい

ふつう

あまりよくない

よくない

(2) あなたは1日いちあたり何回なんかい歯みはがきをしますか？あてはまる
番号ばんごうを一つ〇で囲ひとんでください。

1日2回いち かいじょう以上

1日1回いち かい

毎日まいにちはみがかない

(3) あなたはいつ^は歯みがきをしていますか？あてはまるものすべてを○で^{かこ}囲んでください。

^{あさ お}
朝起きてすぐ

^{あさ} ^{あと}
朝ごはんの後

^{ひる} ^{きゅうしょく} ^{あと}
昼ごはん(給食)の後

^{ばん} ^{あと}
晩ごはんの後

^ね ^{まえ}
寝る前

(4) あなたは1回^{かい}あたり何分^{なんぶん}くらい^は歯みがきをしますか？あてはまる^{ばんごう}番号^{ひと}を一つ○で^{かこ}囲んでください。

^{ぶん みまん}
1分未満

^{ぶん}
1～2分

^{ぶん}
3～5分

^{ぶんいじょう}
5分以上

(5) あなたは何なにを使つかって歯はみがきをしていますか？使つかっているものすべてに○をしてください。

歯はブラシ

電動歯でんどうはブラシ

フロス

歯間しかんブラシ

歯はみがき粉こ

(6) あなたは今いま、むし歯ばがおおよそ何本なんほんくらいありますか？

治療中ちりょうちゆうのものも含ふくみます。(カッコの中に数字なか すうじで答こたえてくだ

さい) * むし歯ばがない場合ばあいは0本ほんと書かいてください。治療ちりょうが

おお終わったものは数かぞえません。

() 本ほん

(7) いつもよく飲^のむ飲^のみ物^{もの}はありますか？

はい

いいえ

(8) 上^{うへ}の質^{しつもん}問^{もん}で はい、と答^{こた}えた方^{かた}にお聞^ききします。下^{した}に書^かいてあるものを1日^{いちにち}にどれくらい飲^のみますか。

お茶^{ちゃ} () 杯^{はい}くらい

コーヒー () 杯^{はい}くらい

炭^{たん}酸^{さん}入^いりの飲^のみ物^{もの}・ジューズ () 杯^{はい}くらい

その他^{その他} (なんですか? :)

(9) あなたは間^{かん}食^{しょく} (決^きまった食^{しょく}事^じ以外^{いがい}のおやつなど) をとりま
すか？

決^きまった時^じ間^{かん}に決^きめただけ^{だけ}の量^{りょう}をとる

好^すきなとき^{とき}に、好^すきなよう^{よう}にとる

とらない

(1 0) ^{おとこ} 男 ^こ の子 ^き に聞 ^き きます。もう ^{こえが} 声 ^が 変 ^わ り ^り しま ^し ましたか？

はい

いいえ

(1 1) ^{うえ} 上 ^{しつもん} の質 ^{もん} 問 ^で はい、と ^{こた} 答 ^{かた} えた ^き 方 ^{かた} へお ^き 聞 ^き します。 ^{こえが} 声 ^が 変 ^わ り ^り した ^{とき} 何 ^{なんさい} 歳 ^{さい} でしたか。

() ^{さい} 歳

(1 2) ^{おんな} 女 ^こ の子 ^き に聞 ^き きます。もう ^{げっけい} 月 ^げ 経 ^{けい} がは ^じ ま ^り ましたか？

(^{せいり} 生 ^{せい} 理 ^り が ^き は ^じ め ^ま したか？)

はい

いいえ

(1 3) ^{うえ} 上 ^{しつもん} の質 ^{もん} 問 ^で はい、と ^{こた} 答 ^{かた} えた ^き 方 ^{かた} へお ^き 聞 ^き します。 ^{げっけい} 月 ^げ 経 ^{けい} がは ^じ ま ^り ました ^{とき} 何 ^{なんさい} 歳 ^{さい} でしたか。

() ^{さい} 歳

4 . あなたは自分が ^{じぶん} 幸 ^{しあわ} せだと思 ^{おも} いますか？ あてはまる ^{てんすう} 点数 1 つに
○をつけてください。

^{しあわ} 幸 ^{しあわ} せでない ←————→ たいへん ^{しあわ} 幸 ^{しあわ} せ

0 点 --- 1 点 --- 2 点 --- 3 点 --- 4 点 --- 5 点 --- 6 点 --- 7 点 --- 8 点 --- 9 点 --- 10 点

5 .わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、
 楽しくない日もあります。みなさんが、この一週間、どんな気持ち
 だったか、当てはまるところに書き入れてください。良い答え、
 悪い答えはありません。思ったとおりに答えてください。

		いつも そうだ	ときどき そう	ない そんな ことは
1	楽しみにしていることがたくさんある	0	1	2
2	とても良く眠れる	0	1	2
3	泣きたいような気がする	2	1	0
4	遊びに出かけるのが好きだ	0	1	2
5	逃げ出したいような気がする	2	1	0
6	おなかが痛くなることがある	2	1	0
7	元気いっぱいだ	0	1	2
8	食事が楽しい	0	1	2
9	いじめられても自分で「やめて」と言える	0	1	2
10	生きていても仕方がないと思う	2	1	0
11	やろうと思ったことがうまくできる	0	1	2
12	いつものように何をしても楽しい	0	1	2
13	家族と話すのが好きだ	0	1	2

		いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない
14	こわい ^{ゆめ} 夢 ^み を見る	2	1	0
15	ひとり ^{ひと} ぼっちの ^き 気がする	2	1	0
16	お ^お ちこ ^こ んでいてもすぐ ^{げんき} 元気になれる	0	1	2
17	とても ^{かな} 悲 ^き しい気がする	2	1	0
18	とても ^{たいくつ} 退屈 ^き な気がする	2	1	0

6.このアンケートには、子どもが考えること、感じること、することが44個かかれています。それぞれの文を読んで、どれくらいそう思ったことがあるか、あてはまる数字にをつけて答えてください。

		ま た た く な い	た ま に あ る	と き ど き あ る	い つ も あ る
1	わる ゆめ 怖い夢やとても怖い夢を見る	0	1	2	3
2	わる 悪いことが起こるのではないかと思っ、怖くなる	0	1	2	3
3	怖い考えや怖い場面が、頭の中にとつぜん浮かび上がってくる	0	1	2	3
4	だれ 誰か別の人になったふりをする	0	1	2	3
5	くち 口げんかをいっばいする	0	1	2	3
6	ひとりぼっちだと感じる	0	1	2	3
7	とても悲しくなったり、不幸せだと感じる	0	1	2	3
8	まえにあった嫌なことを思い出してしまう	0	1	2	3
9	心から消してしまっ、考えないように努力している	0	1	2	3
10	怖いことを思い出してしまう	0	1	2	3
11	おおごえ 大声で叫んだり、ものを壊したくなる	0	1	2	3
12	泣く	0	1	2	3

		ま っ た く な い	た ま に あ る	と き ど き あ る	い つ も あ る
13	きゅう 急にすべてが怖 <small>こわ</small> くなって、なぜそうなるのかわからない	0	1	2	3
14	ものすごく腹 <small>はら</small> が立 <small>た</small> って、落 <small>お</small> ち着 <small>つ</small> くことができない	0	1	2	3
15	めまいがする	0	1	2	3
16	ひとむ 人に向かって大声でひどいこと <small>い</small> を言いたくなる	0	1	2	3
17	じぶんじしん 自分自身をひどい目 <small>め</small> にあわせたくなる	0	1	2	3
18	ほかの人 <small>ひと</small> をひどい自 <small>め</small> にあわせたくなる	0	1	2	3
19	おとこひと 男の人 <small>こわ</small> を怖い <small>かん</small> と感じる	0	1	2	3
20	おんなひと 女の人 <small>こわ</small> を怖い <small>かん</small> と感じる	0	1	2	3
21	じぶんからだなか 自分の身体 <small>よご</small> の中 <small>かん</small> が汚 <small>よご</small> れていると感 <small>かん</small> じて、身 <small>からだ</small> 体 <small>からだ</small> を あろう 洗 <small>あらう</small> う	0	1	2	3
22	じぶん 自分はバカだとか、悪い子 <small>わる</small> だとか感 <small>かん</small> じてしまう	0	1	2	3
23	なにわる 何か悪いこと <small>き</small> をしてしまったような気 <small>き</small> になる	0	1	2	3
24	まわりのもの <small>できごと</small> や出来事 <small>もの</small> が、にせ物 <small>き</small> のような気 <small>き</small> がする	0	1	2	3
25	なにわす 何かを忘 <small>わす</small> れてしまったり、思 <small>おも</small> い出 <small>だ</small> せない	0	1	2	3

		ま っ た く な い	た ま に あ る	と き ど き あ る	い つ も あ る
26	じぶん じぶん じしん からだ なか 自分が自分自身の身体の中にいないような感じがする	0	1	2	3
27	きも お いらいらしたり、気持ちが落ちつかない	0	1	2	3
28	こわ 怖い	0	1	2	3
29	じぶん お なに わる かんが 自分に起こった何か悪いことについて考えずにはいられない	0	1	2	3
30	ケンカをしてしまう	0	1	2	3
31	つめ にんげん わたしは冷たい人間だ	0	1	2	3
32	じぶん べつ 自分がどこか別のところにいるふりをする	0	1	2	3
33	くら こわ 暗いところが怖い	0	1	2	3
34	しんぱい いろいろ心配する	0	1	2	3
35	す ひと だれ わたしのことを好いてくれる人なんて、誰もいない	0	1	2	3
36	おも だ おも だ 思い出したくないことを思い出してしまう	0	1	2	3
37	あたま から ま しろ 頭が空っぽになったり、真っ白になったりする	0	1	2	3
38	ひと にく かん 人を憎んでいるような感じがする	0	1	2	3
39	きも も どりよく どんな気持ちも持たないように努力している	0	1	2	3

		ま っ た く な い	た ま に あ る	と き ど き あ る	い つ も あ る
40	すごく ^{はら た} 腹が立つ	0	1	2	3
41	だれ ^{だれ} 誰かがわたしを ^{ころ} 殺そうとしているように ^{かん} 感じて、 こわ ^{こわ} 怖くなる	0	1	2	3
42	あんな ^{わる} 悪いことが ^お 起こらなければよかったのに ねが ^{ねが} と願う	0	1	2	3
43	じさつ ^{じさつ} 自殺したい	0	1	2	3
44	ひるま ^{ひるま} 昼間ポーっと ^{ほか} 他のことを ^{かんが} 考えてしまって、まわ りのことに ^き 気づかないことがある	0	1	2	3

7 .いつもの自分じぶんにいちばんよく合う答えあこたを、ひとつだけ選えらんでください。
さい。

		いいえ	どちらかといえはいえ	どちらかといえはいえ	はい
1	自分 <small>じぶん</small> に、自信 <small>じしん</small> がありますか	1	2	3	4
2	たいていのことは人 <small>ひと</small> よりうまくできると思 <small>おも</small> いますか	1	2	3	4
3	自分 <small>じぶん</small> には、人 <small>ひと</small> にじまんでできるところがたくさんあると思 <small>おも</small> いますか	1	2	3	4
4	なにをやってもうまくいかないような気 <small>き</small> がしますか	1	2	3	4
5	いま自分 <small>じぶん</small> に、まんぞくしていますか	1	2	3	4
6	自分 <small>じぶん</small> はきっと、えらい人 <small>ひと</small> になれると思 <small>おも</small> いますか	1	2	3	4
7	自分 <small>じぶん</small> はあまり役 <small>やく</small> に立たない人間 <small>にんげん</small> だと思 <small>おも</small> いますか	1	2	3	4
8	自分 <small>じぶん</small> の意見 <small>いけん</small> は、自信 <small>じしん</small> をもって言 <small>い</small> えますか	1	2	3	4
9	自分 <small>じぶん</small> にはあまりいいところがないと思 <small>おも</small> いますか	1	2	3	4
10	失敗 <small>しっばい</small> をするのではないかと、いつも心配 <small>しんぱい</small> ですか	1	2	3	4

8 . 下に書いてある文章が、自分にどの程度あてはまると思いますか。

一つ選んで○をつけてください。

		あてはまらない	ややあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	あてはまる
1	はじめたことはなんであれやりとげる	1	2	3	4	5
2	がんばりやである	1	2	3	4	5
3	終わるまで何か月もかかる計画にずっと興味を持ち続けるのは難しい	1	2	3	4	5
4	私は困難にめげない	1	2	3	4	5
5	物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐにあきてしまう	1	2	3	4	5
6	いったん目標を決めてから後になって別の目標に変えることがよくある	1	2	3	4	5
7	勤勉である	1	2	3	4	5
8	新しいアイデアや計画を思いつくと、以前の計画から関心がそれる	1	2	3	4	5

9 . 下の質問に教えてください。

(1) あなたにとって大事なものは何ですか？上から順に3つ挙げてください。

(2) あなたの夢は何ですか？

ありがとう



しつもん
質問はこれで終わりです。

ありがとうございました。